

精密医療機器を設計から製造までワンストップ提供 積極的な設備投資で品質・生産性をさらに向上

整形外科用手術機器の分野を得意とする医療機器メーカーであり、膝関節手術・股関節手術および脊椎手術におけるインプラント挿入のための器械装置を主力商品としている。製造部門を担う株式会社確信工業(1968年設立、従業員22名)とともに、KAKUSHINグループ全体で、設計から製造、検査、届出までのワンストップ体制の整備をしており、品質管理と納期コントロールを徹底しながら顧客の要望にきめ細かく対応できることを強みとする。また、品質規格への対応や最新の加工・測定設備の導入に積極的である。

所在地 静岡県御殿場市板妻734番地5
電話/FAX 0550-88-3660/0550-88-3661
URL <https://surgical.co.jp/>
代表者 代表取締役 大沼 浩崇

設立 2004年
資本金 500万円
従業員数 15人



高品質製品の設計から製造・検査・届出までを一貫して社内実施

同社のルーツは、50年前に創業した研磨機や金型部品の製造業にあり、約15年前に医療製造業に参入した。そのノウハウを活かして、他の医療製造事業者ができない加工にもほぼ対応する。完全受注生産により、薬事申請、製品設計、製品加工プログラム作成、製品仕上・検査・梱包、文書管理までを一貫して行うことで他社との差別化を図る。外資系企業からの発注も多く、品質・安全性に関する信頼を高めるために、医療機器の安全性と品質の維持を目的とする国際規格であるISO13485を2016年に取得済である。



完全受注生産で製作する高品質な製品

計画的・積極的な設備投資により労働生産性を向上

同社は、「経営力向上計画」の認定を2016年に受け、計画的に設備投資している。たとえば、社員の技術力・ノウハウをデータベース化し、全社員で情報共有した。複合加工機などの最新設備を導入し、加工精度・操作性および製造能力の向上を図った。また、従来の製品検査では、測定器が面のみしか測定できず、凸凹や角の丸みなどは人手で測るため、検査精度にバラツキがあったが、ハンディプローブ三次元測定器やワンショット3D形状測定器を導入して、製品精度の向上と検査作業時間の短縮を実現した。



付加価値・労働生産性を高める最新設備

自動化設備への投資により従業員の多能工化も推進

同社の工場は、作業数に比して、広くかつ自動化した機械が多い。この環境を活かして、誰もが幅広い作業で高品質な製品を同じように生産できるような従業員の多能工化を推進している。たとえば、完成品の品質検査工程において、高い検査精度を確保するために、かつては従業員への専門的な測定知識・技術に関する教育訓練が必要であった。測定作業の相当な部分を自動化できる三次元測定器や3D形状測定器の導入により、教育訓練の時間が短縮できたため、空いた時間を従業員の業務領域拡大に充てている。



教育制度の充実した活気あふれる職場